

## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月6日

上場会社名 株式会社 島津製作所  
 コード番号 7701 URL <https://www.shimadzu.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 上田 輝久  
 問合せ先責任者 (役職名) 理財部長 (氏名) 万代 晋

TEL 075-823-1128

四半期報告書提出予定日 2020年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	279,103	0.3	27,958	1.4	28,793	1.2	21,383	9.8
2019年3月期第3四半期	278,218	5.7	27,568	8.4	28,457	10.9	19,479	8.0

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 20,245百万円 (23.5%) 2019年3月期第3四半期 16,398百万円 (△30.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	72.59	—
2019年3月期第3四半期	66.13	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	422,986	298,810	70.6
2019年3月期	437,190	287,941	65.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 298,769百万円 2019年3月期 287,894百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	13.00	—	15.00	28.00
2020年3月期	—	15.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	395,000	1.0	45,000	1.2	45,500	0.1	33,000	1.5	112.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、【添付資料】8ページ「四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	296,070,227 株	2019年3月期	296,070,227 株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	1,503,281 株	2019年3月期	1,502,537 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	294,567,338 株	2019年3月期3Q	294,568,748 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.2019年5月10日に公表しました通期の連結業績予想は、本資料において修正しています。

2.上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関連する事項については、【添付資料】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1)経営成績に関する説明 .....	2
(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1)四半期連結貸借対照表 .....	4
(2)四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報等) .....	9
3. 補足情報 2020年3月期第3四半期 決算の概要 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1)経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の景気の状態は、日本では輸出が引き続き弱含むなかで、製造業を中心に弱さが一段と増しているものの、雇用の改善などにより、緩やかな回復が続きました。北米では雇用・所得環境の改善や好調な個人消費により、回復が続きました。一方、中国では米中貿易摩擦の影響もあり、緩やかな減速が続きました。欧州では英国のEU離脱問題などがあり、弱さがみられました。また、東南アジアでは景気は緩やかに回復したものの、インドでは弱い動きとなりました。世界経済全体では、景気の減速感が強まりました。

こうした情勢のもとで当社グループは、中期経営計画に沿って、「世界のパートナーと社会課題の解決に取り組む企業」を目指し、「アドバンスト・ヘルスケア」など成長分野への投資、AI・IoTを活用したアフターマーケット事業の拡大や重点機種競争力強化などによる収益力強化、また組織基盤の変革など、成長に向けた施策を着実に進めています。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、中国での景気の緩やかな減速や半導体市況の低迷などが影響したものの、日本での底堅い需要などにより、売上高は2,791億3百万円(前年同期比0.3%増)となり、営業利益は279億5千8百万円(同1.4%増)、経常利益は287億9千3百万円(同1.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は213億8千3百万円(同9.8%増)となりました。

セグメントの状況はつぎのとおりです。

#### I. 計測機器事業

当事業の売上高は、中国、東南アジアでは減少しましたが、日本、北米、欧州、インドなどで増加し、全体としては堅調に推移しました。

日本では、官公庁・化学・食品向けに液体クロマトグラフ、官公庁・製薬向けに質量分析システムが、鉄鋼および自動車など輸送機向けに試験機が伸び堅調に推移しました。北米では、病院で使用される質量分析システムが減少したものの、試験機などが好調で全体としては増加しました。欧州では質量分析システムがロシアで食品向けに好調に推移したことなどから、全体では微増となりました。インドでは、製薬向けに液体クロマトグラフ、受託分析向けに質量分析システムが好調でした。

一方、中国では、大学・官公庁や受託分析向けに質量分析システムが増加しましたが、環境計測機器が前年の特需の反動で大きく減少したことに加え、前年大口案件の反動や設備投資抑制の影響などによりガスクロマトグラフ、分光光度計が減少しました。東南アジアでは、製薬向けに液体クロマトグラフが好調でしたが、官公庁向けに質量分析システムが減少しました。

この結果、当事業の売上高は1,724億8千万円(前年同期比1.9%増)、営業利益は売上の増加などにより251億1千万円(同2.4%増)となりました。

#### II. 医用機器事業

当事業の売上高は、海外では減少しましたが、日本では大きく伸び、全体としては増収となりました。

日本では、X線TVシステム、血管撮影システム、診療所向けのX線撮影システムが好調に推移しました。

一方、北米では、デジタル化促進施策の需要一巡の影響が続き、X線撮影システムが減少しました。また、欧州では、多目的のX線TVシステムや血管撮影システムが減少しました。中国では、案件の遅延に加え、X線撮影システムが国産品との競合の激化で減少しました。その他のアジアにおいては、インドで汎用X線TVシステムや血管撮影システムが伸びたものの、東南アジアでは前年の大口案件の反動もあり、X線撮影システムが減少しました。

この結果、当事業の売上高は503億1千7百万円(前年同期比2.5%増)、営業利益は売上の増加などにより12億9千2百万円(同39.1%増)となりました。

### Ⅲ. 航空機器事業

当事業の売上高は、日本、北米ともに増加しました。

北米では、堅調な中・小型機需要を背景に民間航空機向け搭載機器およびエアライン向け補用品の売上が増加しました。日本では、防衛省向け航空機搭載機器が増加しました。

この結果、当事業の売上高は 212 億 6 千 5 百万円(前年同期比 9.9%増)、営業利益は売上の増加などにより 4 億 2 千万円となりました(前年同期は 2 億 6 千 7 百万円の営業損失)。

### Ⅳ. 産業機器事業

当事業の売上高は、ターボ分子ポンプおよびガラスワインダが大幅に減少し、全体として低調に推移しました。

ターボ分子ポンプは、欧州でサービス事業が増加したものの、半導体製造装置およびフラットパネルディスプレイ製造装置向けの需要が低迷し、厳しく推移しました。ただし足元では半導体向けを中心に需要の回復傾向が見られます。油圧機器は、自然災害の影響を受けた日本で需要が停滞したことに加え、北米および中国で米中貿易摩擦の影響を受け、減少しました。また、ガラスワインダは、主要市場の中国で、電子部品基板用ガラス繊維向けの設備投資抑制の影響を受け、減少しました。

この結果、当事業の売上高は 302 億 2 千万円(前年同期比 11.4%減)、営業利益は売上の減少などにより 21 億 3 千 7 百万円(同 35.5%減)となりました。

### Ⅴ. その他の事業

当事業の売上高は 48 億 1 千 9 百万円(前年同期比 24.4%減)、営業利益は 8 億 3 千 2 百万円(同 14.4%増)となりました。

## (2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第 3 四半期連結累計期間における業績の進捗状況および世界経済の不透明感の高まりなどを勘案し、2019 年 5 月 10 日に公表しました予想を見直しています。

	通期予想		
		対前期 増減率	(参考) 前回公表時
売上高	395,000	1.0%	410,000
営業利益	45,000	1.2%	47,000
経常利益	45,500	0.1%	47,000
親会社株主に帰属 する当期純利益	33,000	1.5%	34,000

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。その要因の主なものは、主要市場(日本、欧米およびアジア等)の経済状況、製品需給の変動および為替相場の変動などです。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	73,641	61,040
受取手形及び売掛金	126,358	112,874
商品及び製品	42,825	46,935
仕掛品	20,347	23,404
原材料及び貯蔵品	20,296	20,804
その他	9,107	9,819
貸倒引当金	△1,671	△1,820
流動資産合計	290,906	273,058
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	46,798	46,467
機械装置及び運搬具(純額)	7,826	7,416
土地	19,010	18,837
リース資産(純額)	3,183	3,007
建設仮勘定	2,338	4,133
その他(純額)	13,724	16,187
有形固定資産合計	92,880	96,049
無形固定資産	10,830	11,510
投資その他の資産		
投資有価証券	13,562	14,838
長期貸付金	174	151
退職給付に係る資産	10,480	12,893
繰延税金資産	12,400	9,210
その他	6,296	5,634
貸倒引当金	△341	△361
投資その他の資産合計	42,573	42,367
固定資産合計	146,284	149,927
資産合計	437,190	422,986

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	66,610	59,960
短期借入金	2,290	2,462
1年内償還予定の社債	15,000	-
リース債務	1,160	2,081
未払金	15,487	11,341
未払法人税等	3,740	1,966
賞与引当金	9,095	4,142
役員賞与引当金	281	188
株式給付引当金	-	198
防衛装備品関連損失引当金	44	35
その他	19,566	24,117
流動負債合計	133,278	106,495
<b>固定負債</b>		
長期借入金	247	57
リース債務	2,328	3,447
役員退職慰労引当金	137	148
退職給付に係る負債	11,938	12,709
株式給付引当金	155	-
その他	1,163	1,317
固定負債合計	15,971	17,680
負債合計	149,249	124,176
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	26,648	26,648
資本剰余金	34,927	34,926
利益剰余金	222,801	234,883
自己株式	△1,415	△1,417
株主資本合計	282,962	295,041
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	5,508	6,769
為替換算調整勘定	△1,660	△3,903
退職給付に係る調整累計額	1,083	862
その他の包括利益累計額合計	4,932	3,727
非支配株主持分	47	40
純資産合計	287,941	298,810
負債純資産合計	437,190	422,986

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	278,218	279,103
売上原価	166,948	168,225
売上総利益	111,269	110,877
販売費及び一般管理費	83,701	82,919
営業利益	27,568	27,958
営業外収益		
受取利息	194	212
受取配当金	270	709
受取保険金	403	240
為替差益	294	-
助成金収入	247	613
その他	525	375
営業外収益合計	1,936	2,151
営業外費用		
支払利息	73	64
為替差損	-	580
その他	972	670
営業外費用合計	1,046	1,315
経常利益	28,457	28,793
特別利益		
固定資産売却益	22	530
投資有価証券売却益	146	74
特別利益合計	169	604
特別損失		
固定資産処分損	278	101
投資有価証券評価損	198	62
投資有価証券売却損	225	-
減損損失	195	-
特別損失合計	898	164
税金等調整前四半期純利益	27,728	29,234
法人税、住民税及び事業税	5,758	4,918
法人税等調整額	2,427	2,935
法人税等合計	8,185	7,854
四半期純利益	19,542	21,379
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	63	△3
親会社株主に帰属する四半期純利益	19,479	21,383

## 四半期連結包括利益計算書

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	19,542	21,379
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,562	1,260
為替換算調整勘定	△41	△2,172
退職給付に係る調整額	△540	△221
その他の包括利益合計	△3,144	△1,133
四半期包括利益	16,398	20,245
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,368	20,250
非支配株主に係る四半期包括利益	29	△4

(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

一部の在外連結子会社は、第1四半期連結会計期間より「リース」(IFRS第16号)を適用しています。当該会計基準の適用にあたっては、経過措置で認められている、当該会計基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しています。

当該会計基準の適用の結果、第1四半期連結会計期間の期首の連結貸借対照表は、有形固定資産のその他が2,262百万円、流動負債のリース債務が839百万円、固定負債のリース債務が1,422百万円それぞれ増加しています。資産の測定方法はリース債務の測定額に前払及び未払リース料を調整する方法を採用しており、期首利益剰余金への影響はありません。なお、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益における影響額は軽微です。

## (セグメント情報等)

## 1)セグメント情報

報告セグメントごとの売上高および営業利益又は営業損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	計測機器	医用機器	航空機器	産業機器	計				
売上高									
外部顧客への売上高	169,291	49,105	19,342	34,100	271,839	6,378	278,218	-	278,218
セグメント間の 内部売上高	14	14	82	66	178	1,352	1,530	△1,530	-
計	169,306	49,120	19,424	34,166	272,018	7,731	279,749	△1,530	278,218
セグメント利益 又は損失(△)	24,532	929	△267	3,313	28,507	727	29,234	△1,666	27,568

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	計測機器	医用機器	航空機器	産業機器	計				
売上高									
外部顧客への売上高	172,480	50,317	21,265	30,220	274,284	4,819	279,103	-	279,103
セグメント間の 内部売上高	24	27	88	56	197	1,387	1,584	△1,584	-
計	172,504	50,344	21,354	30,277	274,481	6,206	280,687	△1,584	279,103
セグメント利益	25,110	1,292	420	2,137	28,961	832	29,794	△1,835	27,958

## 2)関連情報

地域ごとの売上高の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

(単位:百万円)

日本	米州	欧州	中国	その他のアジア	その他	合計
130,929	36,429	23,201	54,700	26,024	6,932	278,218

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位:百万円)

日本	米州	欧州	中国	その他のアジア	その他	合計
135,909	35,799	23,422	49,133	27,627	7,211	279,103

(注) 本邦以外の区分に属する主な国または地域

米州 : アメリカ  
 欧州 : イギリス、ドイツ  
 中国 : 中国  
 その他のアジア : インド、東南アジア、韓国、台湾  
 その他 : オーストラリア、中近東、アフリカ

## 3. 補足情報

## 2020年3月期第3四半期 決算の概要

	百万円	2019年3月期	2020年3月期	対前年同期		2019年3月期	2020年3月期
		第3四半期 連結累計期間 実績	第3四半期 連結累計期間 実績	増減額	増減率	実績	予想
売上高	百万円	278,218	279,103	885	0.3%	391,213	395,000
売上高(計測機器)	百万円	(169,291)	(172,480)	(3,188)	(1.9%)	(241,395)	—
売上高(医用機器)	百万円	(49,105)	(50,317)	(1,211)	(2.5%)	(69,084)	—
売上高(航空機器)	百万円	(19,342)	(21,265)	(1,923)	(9.9%)	(27,343)	—
売上高(産業機器)	百万円	(34,100)	(30,220)	(△3,879)	(△11.4%)	(45,419)	—
売上高(その他)	百万円	(6,378)	(4,819)	(△1,559)	(△24.4%)	(7,971)	—
地域別売上高【日本】	百万円	130,929	135,909	4,979	3.8%	193,906	—
地域別売上高【海外】	百万円	147,288	143,194	△4,094	△2.8%	197,307	—
海外売上高(米州)	百万円	(36,429)	(35,799)	(△630)	(△1.7%)	(48,934)	—
海外売上高(欧州)	百万円	(23,201)	(23,422)	(220)	(0.9%)	(31,291)	—
海外売上高(中国)	百万円	(54,700)	(49,133)	(△5,566)	(△10.2%)	(71,859)	—
海外売上高(その他のアジア)	百万円	(26,024)	(27,627)	(1,602)	(6.2%)	(35,274)	—
海外売上高(その他)	百万円	(6,932)	(7,211)	(279)	(4.0%)	(9,947)	—
営業利益	百万円	27,568	27,958	390	1.4%	44,480	45,000
経常利益	百万円	28,457	28,793	335	1.2%	45,462	45,500
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	百万円	19,479	21,383	1,903	9.8%	32,523	33,000
1株当たり四半期(当期)純利益	円	66.13	72.59	—	—	110.41	112.03
1株当たり配当金	円	—	—	—	—	28.00	30.00
設備投資	百万円	13,957	11,906	△2,050	△14.7%	21,711	22,000
減価償却費	百万円	8,580	9,821	1,241	14.5%	11,506	13,500
総資産	百万円	409,726	422,986	13,259	3.2%	437,190	—
純資産	百万円	276,100	298,810	22,709	8.2%	287,941	—
自己資本比率	%	67.4	70.6	—	—	65.9	—
連結従業員数	人	12,499	13,150	651	—	12,684	—
連結子会社数	社	75	76	—	—	75	—
(日本)	(社)	(23)	(23)	—	—	(23)	—
(海外)	(社)	(52)	(53)	—	—	(52)	—